

県教委主催の『SAH IGNITE3.0に参加してきました！』



IGNITE = 火をつける・着火する

SAH IGNITE3.0

Students Teachers

～ S - T Dialogue ～

**見学
無料**

☒ 生徒、先生たちが「Agencyを発揮できる授業とは何か」について一緒に考え、語り合います。

※当日見学OK！現地にお越しください。（申込み不要）

2025

7/28

月

群馬県庁32階NETSUGEN

13:00～15:00

<主催> 群馬県教育委員会高校教育課





SAH IGNITE 3.0










2025.7.28 @NETUGEN

7/28（月）に、県庁 32 階の『NETSUGEN（ネツゲン）』、および 31 階の『GINGHAM（ギンガム）』にて、『Student Agency High School（SAH）』のイベントが開催され、本校の先生方とともに参加して参りました！

*画像等は SAH Instagram より転載





『IGNITE（イグナイト）』とは『火をつける』『着火する』『心に火をつける』などの意味があります！本校の『SPARK（スパーク）』とほぼ同じ意味なのです！また、今回は『3.0』となっていますが、これはこのイベントが『第3回』であるという意味となっています！今回はSAH指定校、協力校の生徒、先生が集い、**『Agencyを発揮できる深い学びとは何か』**というテーマについて、生徒と先生方が一緒に考えるというイベントでした！

『SAH指定校・協力校』は県教育委員会の事業なので、本校は指定を受けることができません！そこで、本校独自の教育ビジョン『SPARK for our well-being!』を立ち上げたわけです！言うなれば、『SAH』と『SPARK』は同義といっても過言ではありません！そんなわけで、『IGNITE 3.0』のイベントをご案内いただき、まずは本校の先生方のみですが、参加できたわけです！参加した先生方の感想をご紹介します！次回は桐商生も参加してみませんか？

生徒と先生がエージェンシーを発揮できる授業について話し合うSAH Ignite3.0 S-T Dialogueに参加しました。渋川女子高校の生徒と先生たちによるパネルディスカッションのなかで、生徒の「一人で考えた時の行き詰まりを解消できる。地理の授業での防災学習が日常に活かされている。」というコメントが印象的でした。生徒の学びを豊かにするためには授業だけで留めることなく社会が抱える課題の解決など広い視点が大切であることを再認識しました。

生徒指導主事 石井 克佳

生徒が授業で生き生きとしている姿を、今よりも見られるようにするためのヒントを得たいと思い、今回のイベントに参加しました。私が所属したグループには普通科と商業科の生徒がいましたが、口を揃えて出たのが「ペアワークやグループワークなど、動きがある授業だと積極的に取り組みます」という主旨の意見でした。校内で一学期に実施した授業評価アンケート結果も参考にしながら、生徒も教員もウェルビーイングに近づける授業にしたいという気持ちがさらに強くなりました。

2学年主任 中西 岳

「SAH イグナイト 3.0」に参加し、他校の教員や生徒と深く対話する貴重な機会を得ました。利害関係のないフラットな環境だったため、立場を超えた忌憚のない意見が飛び交い、本質的な学びのあり方について深く掘り下げて考えを深められました。この率直な意見交換は、私自身の課題である「やらされている感のない授業」を設計するうえで、大きな示唆となりました。授業改善コーディネーター 高橋 勝貴



『S-T Dialogue』とは、『Students』と『Teachers』が『より深い学びとなる授業づくり』を目指し、**『対等の立場』**で意見を交換することをねらいとしています！これってすごいことだと思いませんか？桐商でも、教師と生徒が同じ目線で意見を交換し、よりよい学校づくりを目指し、**『協働』**していけるとよいですね！**生徒はもはや『同僚』なのです！** 校長 星野 亨